

## ～ぶどうの花、みたことありますか？～

秋田県では、県南内陸部を中心にぶどうの栽培が行われています。

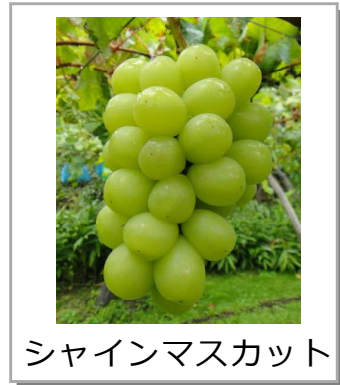
おなじみの‘巨峰’や‘スチューベン’、‘キャンベル・アーリー’をはじめ、今話題の‘シャインマスカット’などいろいろな品種が作られています。



キャンベル・アーリー



巨峰



シャインマスカット

ところで、「ぶどう」の花って見たことありますか？

「ぶどう」の花は「りんご」や「もも」と比べるとめだちませんが、ちょっと変わったかわいい花を咲かせます。

花が咲く時期は、秋田県南部では6月中旬です。

この頃に「ぶどう」畑の近くを通るとぶどうの花の香りがしてきますよ！

### ぶどうのつぼみ

右の写真は、ぶどうの果実のように見えますが、これはつぼみのかたまりで、「小花穂（しょうかすい）」といいます。

この一粒一粒がつぼみです。

つぼみの大きさは品種によって異なりますが、始めは小さく、だんだんふくらんできます。写真のもので2～3mmです。



## ぶどうの花

「ぶどう」の花は、上から順序に咲いていきます。



ぶどうの花穂（左）と花（右）

ところで、「ぶどう」の花には、りんごやなしのような花弁（花びら）はないのでしょうか？

「ぶどう」の開花は、「りんご」のように先端から開くものと違って、花弁の先端がくっついている形（花冠）なので、先端から開かないで基の部分から開きます。

そして、花冠はそのまま帽子を脱ぐように開花と同時に“すぽっ”と取れます。

このため、ぶどうでは開花と同時に花弁は落ちて無くなります。